

平成 28 年 4 月 1 2 日

鹿児島大学病院で全身麻酔による鼠径ヘルニア根治術をお受けになった患者さんへ(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は過去(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日)に鹿児島大学病院で小児鼠径ヘルニア根治術を受けた患者さんの術前後の診療記録をまとめることによって行います。このような研究においては、文部科学省、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせや研究への参加を希望されない場合は、下記の【お問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】

鹿児島大学病院における小児鼠径ヘルニア術における腹横筋膜面ブロックと創部局所浸潤麻酔の術後鎮痛効果の比較 (後ろ向き観察研究)

【研究機関】

鹿児島大学病院 麻酔科

【研究責任者】

上村 裕一(麻酔科 教授)

【研究の目的】

全身麻酔による小児鼠径ヘルニア根治術を行う際、術後の鎮痛目的で神経ブロック(腹横筋膜面ブロック)もしくは、創部局所浸潤麻酔等を行っています。一般的には神経ブロックのほうが、創部局所浸潤麻酔と比較し、強い鎮痛効果と、長い持続時間を有すると考えられていますが、神経ブロックを行うためには専門知識を必要とし、また手技的に煩雑になる面もあります。現在、当院においては、小児鼠径ヘルニア根治術に対し、統一された術後鎮痛法は確立されておられません。

そこで、本研究では鹿児島大学病院で小児鼠径ヘルニア根治術を受けられた

患者さんを対象に、術後の鎮痛薬の使用状況をまとめることによって、手術時に行う術後鎮痛法の妥当性について検討することを目的としています。

【研究の方法】

診療録や麻酔記録からデータを集積し解析します。利用する情報から、氏名、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報には削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

対象となる患者さん

平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日までに鹿児島大学病院で全身麻酔による鼠径ヘルニア根治術（Potts 法）をお受けになった患者さんを対象としています。

利用するカルテ情報

① 患者さんの背景

- ・ 年齢、性別、身長、体重

② 術中記録

- ・ 手術時間
- ・ 麻酔時間
- ・ 鎮痛法（腹横筋膜面ブロック、創部局所浸潤麻酔）
- ・ 局所麻酔薬の種類
- ・ 局所麻酔薬の量
- ・ 術中麻薬使用量

③ 術後記録

- ・ 術後鎮痛薬の種類
- ・ 術後鎮痛薬の 1 回投与量
- ・ 術後鎮痛薬の使用回数

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科侵襲制御学分野の用途特定寄付金で実施します。この研究に対する企業等からの寄付は受けていません。

るので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
鹿児島大学病院 麻酔科医師 岩川昌平 上村裕一
電話 099-275-5430 FAX 099-265-1642